

# 本日、石川サンケン門前工場の存続を求める 地元住民 4596 筆の署名を輪島梶市長宛に提出 (旧門前町有権者 6404 名の約 7 割)

## 1. 事態

先般より一部で報道されていますが、本年2月23日団体交渉において、石川サンケン(株)より当組合に対し「門前工場を来年2011年3月をもって閉鎖したい」との提案がなされました。

当組合は閉鎖提案の撤回と門前工場の存続を求めて、今日まで9回の団体交渉を行ってきました。その間、当組合はあくまでも労使での解決をめざして、マスコミの皆様へのご報告を控えさせていただいていたものです。しかし、現在まで会社の姿勢は大きくかわっていません。

会社は、創設の歴史においても「地域振興企業」として輪島市とりわけ旧門前地区に進出し、この地で最大240名以上、今も120名以上の雇用を守っている職場であり、地域の過疎化をくいとめるためにも門前サンケン工場はなくてはならない職場と考えています。

組合は3月に全従業員の工場存続を求める署名を会社に提出しましたが、今日7日、会社を100%支配している親会社であるサンケン電気(株) (埼玉県新座市) を訪問し、本社飯島社長宛てに標記の地域住民署名を提出し工場存続を申し入れました。そのうえで、本日、輪島市長宛に同じ署名の提出を行い、市としてのご尽力をお願いしたものです。

## 2. この間の主な経過

### 2/23 第1回団体交渉

会社、口頭で門前工場閉鎖を提案

「組合との誠実な交渉協議・合意にもとづいて解決をはかる」との労働協約を締結  
組合は全組合員集会で工場閉鎖提案の白紙撤回を求めていくことを決議。

### 3/5 第2回団体交渉

### 3/17 第3回団体交渉

会社、書面で門前工場閉鎖を正式に提案

### 3/31 第4回団体交渉

組合、工場閉鎖撤回を求める全従業員署名を会社に提出  
会社、決算書の開示を拒否

4/13 第5回団体交渉

4/14 組合、輪島市長に申入れ

4/20 第6回団体交渉

会社、突然「4月がタイムリミット」など見切り発車を開き直るような発言をする

4/28 第7回団体交渉

組合、この間の団体交渉での会社の姿勢に書面で抗議と申入れ

5/14 第8回団体交渉

会社、閉鎖は撤回できないとの文書による回答

組合、前回回交についての抗議と申入れ

5/26 第9回団体交渉

6/3 会社、労使の確認を無視し一部マスコミにコメント掲載（内容に重大な誤りを含む）※3

6/5 組合、会社の対応に抗議申入れ

6/7 組合、サンケン電気本社に対し、地域署名を提出、門前工場存続を申入れ ※4

6/9 組合、輪島市に対し、地域署名を提出。

組合としての記者会見を行う

第10回団体交渉

以上

# 2010年6月9日、石川サンケン門前工場の存続を求める 地元住民4596筆の署名を輪島市・梶市長宛に提出！

(旧門前町有権者6404名の約70%)

—6月7日には、サンケン電気本社（埼玉県）飯島社長宛に  
同署名を提出し、工場閉鎖撤回と工場存続を申し入れました—

2010. 6. 10 北陸中日



西畑部長(左)に対し、集まった署名を  
手渡す北山支部長(右)＝輪島市役所で

## 石川サンケン 門前工場閉鎖撤回を 石川地方 労組など 輪島市に署名提出

志賀町に本社がある  
半導体メーカー、石川  
サンケンの門前工場  
(輪島市門前町本市)  
を閉鎖する提案が会社  
側からあったことを受  
け、全国一般石川地方  
労働組合と同門前サン  
ケン支部は、閉鎖の撤  
回と工場の存続を求め  
て四千五百人を超える  
署名を集め、九日、輪  
島市に提出した。  
組合によると、会社  
側から二月の団体交渉

で閉鎖の提案があつた。署名活動は組合員が四月から五月の連休にかけて、旧門前町の九割以上の世帯を回り、全有権者の七割に当たる四千五百九十六人分の署名を集めた。全国一般石川地方労働組合の荒木宗昭執行委員長と本田良成書記長、北山悟門前サンケン支部長ら十人が訪れ、応じた西畑賢一産業部長に手渡した。四月にも輪島市に対して申し入れをし、梶文秋市長が石川サンケンに存続を求めた。西畑部長は「存続する手だてはないか、皆さんの意向を伝えたい」と答えた。

組合によると、社側の説明では、閉鎖は赤字製品からの撤退や構造改革などを理由と

し、従業員は、能登地区にある県内のほかの四工場に配置転換し雇用を確保すると提案があつたという。

組合は七日に、親会社のサンケン電気(埼玉県新座市)にも署名を提出し、工場存続の申し入れを行った。

門前工場は一九六六(昭和四十一)年に前身の門前サンケン工業として設立。現在、門前町では最大規模の約二百二十人の従業員がいる。

北山支部長らは、「地域振興企業として進出した歴史があり、工場がなくなれば過疎化が進む門前町がますます衰退する。閉鎖を前提とした話し合いではなく、あくまでも閉鎖撤回に向けて闘う」と話した。(小塚泉)

### 会社は、門前工場存続を求める組合員・地域住民の 声の重みを受けとめ、工場閉鎖を撤回せよ！

全国一般石川地方労働組合／同・門前サンケン支部



工場の存続を求める署名簿を手渡す北山悟支部長（左）と輪島市役所

## 門前工場存続 輪島市に要望

### 石川サンケン 労組役員ら

志賀町の半導体メーカー「石川サンケン」が、門前工場（輪島市門前町）の来年3月での閉鎖を計画していることが明らかになり、同工場の労働組合役員らが9日、住民4596人の署名を添えて同市に工場の存続を要望した。同市側は「組合と協議中のため、コ

メントできない」としている。同工場は1966年にサンケン電気（本社・埼玉県）の専属会社「門前サンケン工業」として発足。78年に県内5社が合併して「石川サンケン」を設立し、同社門前工場になった。テレビや電子レンジなどに使われる高圧ダイオードを生産し、約1200人が働く旧門前町では最大規模の事業所。2月に会社側が「採算が悪化し、工場の維持は困難」と組合側に申し入れ、交渉が続いている。

石川サンケン  
工場存続協力を  
労組が輪島市に

石川サンケン（志賀町）が来年3月末をめぐりに輪島市門前町の門前工場を閉鎖する方針を示していることを受け、全国一般労働組合石川地方本部と同本部門前サンケン支部は9日、同市に工場存続への協力を求め、住民の署名を提出した。  
同本部の荒木宗昭執

行委員長、北山悟支部長ら10人が市役所を訪れ、門前町の有権者のほぼ7割に当たる4596人の署名を西畑賢一産業部長に手渡した。西畑部長は「門前のシンボリックな工場であり、維持を前提に市から会社へお願いしたい」などと応じた。

2010. 6. 10 北國

2010. 6. 10  
朝日

9日は、工場の従業員でつくる全国一般労働組合石川地方本部の北山悟・門前サンケン支部長ら約10人が市役所を訪れた。北山支部長らは「能登半島地震からの復興もこれからという時に工場が閉鎖されては、地域の活性化が図れない」と市から会社への働きかけを求めた。対応した西畑賢一・同市産業部長は「門前地区の就業の場として貢献している工場。工場維持を前提に市も会社に申し入れをした」と応じていた。

### 「サンケン閉鎖撤回」 労組が要望の署名

半導体メーカー「石川サンケン」（志賀町）が、輪島市門前町の門前工場の閉鎖方針を示した問題で、同工場の従業員の大半が所属する全国一般石川地方労働組合は9日、存続に尽力するよう求める4596人分の署名を市に提出した。同市には提出済みだという。署名は4月下旬頃、組合員が地域住民から集めたもので、この日は同組合の荒木宗昭委員長らが市役所を訪れ、西畑賢一・市産業部長に手渡した。記者会見では、荒木委員長が「工場が閉鎖されれば地域は衰退する」とし、閉鎖撤回を訴えた。

同工場は、前身の門前サンケン工業が1966年に

設立。従業員数はピーク時の約240人から123人に減ったが、旧門前町では最大規模の事業所。西畑産業部長は「存続に向けて再度、会社側に要請する」と語った。

2010. 6. 10  
読売